

令和 6 年度 地震研究所職員研修会 プログラム



日 程 令和 7 年 1 月 29 日(水) ～ 31 日(金)

地震研究所研修運営委員会

(WEB 版 20250124)

令和 6 年度 地震研究所職員研修会 概略

日 程： 令和 7 年 1 月 29 日（水）～ 31 日（金）

会 場： （29 日）地震研究所 1 号館 2 階セミナー室（1-203 号室）
 （30 日）海上保安庁（東京都千代田区）
 気象庁（東京都港区）
 （31 日）地震研究所 1 号館 2 階セミナー室（1-203 号室）

日程概略：

29 日（水）	30 日（木）	31 日（金）
12:30～ 受付 13:00～13:20 開会式 13:20～13:30 地震火山災害予防賞表彰式 受賞者 堀川 信一郎 氏 13:30～14:05 受賞記念講演 14:15～15:45 技術発表（口頭発表） 15:45 集合写真撮影 16:00～17:20 技術発表（ポスター発表） 17:25～17:35 所外研修の注意事項説明 18:00～20:00 懇親会（農学部生協食堂）	9:00 海上保安庁に集合/点呼・講 堂へ移動開始 9:30～11:30 講義 11:30 一時解散 各自で昼食・気象庁へ移動 13:00 気象庁に集合/点呼・講堂へ 移動開始 13:30～17:00 講義・施設見学 17:00～ 気象科学館（20:00 閉館） 各自で自由見学・自由解散	8:40～ 受付 9:00～10:40 技術発表（口頭発表） 11:00～12:00 特別講演 小原 一成 教授 12:00～12:15 修了式

研修運営委員会：行竹 洋平（運営委員長）、一瀬 建日（運営副委員長）、
 安藤 美和子（実行委員長）、西本 太郎（実行副委員長）、
 秋山 峻寛、八木 健夫、宮川 幸治、佐伯 綾香

電子メール kenshu-contact@eri.u-tokyo.ac.jp

ホームページ https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kenshu_iinkai/

技術発表予稿集 https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kenshu_iinkai/record/r06/pdf/R06_Abst.pdf

※ 技術発表予稿集は 1 月下旬に公開予定です。

※ 会場にてプログラムならびに技術発表予稿集の配布はありません。

※ 31 日（金）13:30～15:30（予定）に地震研ラボツアーを開催致します。参加を希望される方はフォームからのお申し込みをお願い致します。<https://forms.gle/Gwy12ojCiF9PTx6GA>

お知らせ

1. 研修会受付（現地参加の方）

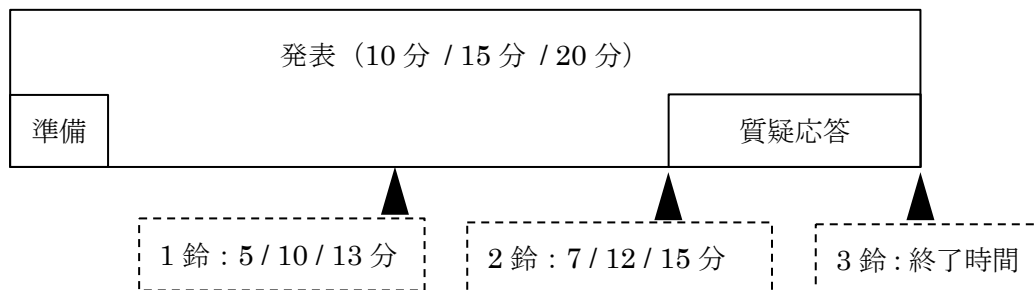
- 地震研究所 1 号館に入館されましたら、入口すぐ右の中央監視室で記帳をお願いいたします。→ 研修会とは別に、災害時に備えて在館者数を把握するためです。
- 1 月 29 日（水）12:30 から職員研修会の受付を開始します。
 - 受付は地震研究所 1 号館 2 階セミナー室（1-203 号室）後方の出入り口付近で行います。
 - 名札をお渡ししますのでご着用願います。
 - 懇親会の会費（職員 3,000 円 教授会メンバー4,000 円）は受付の際にお支払いください。

2. 研修会受付（オンライン参加の方）

- 1 月 29 日（水）12:30 から Zoom にて受付を開始します。時間になりましたら Zoom にアクセスして下さい。
- Zoom の設定をご確認ください。
 - Zoom が最新バージョンにアップデートされているかご確認ください。
 - 表示名は 所属略称・姓名 としてください。例）東大・震研太郎
 - 進行者および発表者以外は、ビデオをオフに、音声をミュートに設定してください。
 - お困りの際はチャットで話しかけてください。
 - 東大構成員の方は東大アカウントでサインインした状態でご参加ください。

3. 技術発表（口頭発表）

- 【現地参加の方】会場には Zoom に接続した状態の Windows と Mac のノート PC を 1 台ずつ用意しております。PC のマイクはミュートにして、演台のマイクをご使用ください。カメラをオンにしてご発表をお願いします。ポインターは PowerPoint のものをお使いください。ご自身のノート PC で発表して頂くことも可能ですが、その場合は発表前までに Zoom にご接続願います。
- 【オンライン参加の方】発表前にマイクがミュートになっていないか確認の上、カメラをオンにしてご発表をお願いします。
- 発表時間には、発表準備および質疑応答も含まれています。質疑応答時間は発表時間が 10 分と 15 分の方は 3 分程度、発表時間が 20 分の方は 5 分程度を想定しています。発表中は以下のタイミングで鈴が鳴ります。時間厳守でお願いします。



- 質疑応答の際は、
 - 【現地参加の方】座長に指名された後、セミナー室前方中央のマイク前へ移動してからご発言ください。
 - 【オンライン参加の方】質問する場合は Zoom のリアクションの挙手機能をご利用ください。質問の際はミュートを解除してください。

4. 技術発表（ポスター発表）

- ポスター会場（地震研究所 1 号館 2 階コミュニケーションラウンジ）は、29 日（水）12:00 から利用可能です。研修会が終了次第、ポスターを回収してください。
- 展示場所は、会場の展示ボードに発表番号で指示されています。わからない場合は受付にお問い合わせください。
- ポスター展示ボードの大きさは、縦 170 cm×横 115 cm です。

5. 懇親会

- 懇親会は 1 月 29 日（水）18:00 から 20:00 まで農学部生協食堂（農学部 3 号館地下）にて開催予定です。
- 当日の参加も受け付けます。皆様のご参加をお待ちしております。

6. 地震研究所内会場での飲食等

- 1 号館 2 階セミナー室は、一部飲食可能（飲み物○食べ物×）です。
- セミナー室の外の休憩スペースは、飲食可能（飲み物○食べ物○）です。
- 会場ではお茶と水をご用意します。
- 指定された喫煙場所以外は禁煙です。喫煙場所は研修運営委員にお尋ねください。

7. その他

- 参加および聴講される方は、配信される映像や音声の録画、録音、スクリーンショットの取得はご遠慮ください。
- 実行委員会はスクリーンショットや会場を撮影し、後日、研修運営委員会ホームページや技術研究報告に掲載することがあります（申し込み時に掲載不許可を選択された方を除きます）。
- 研修会の録画およびアーカイブ公開は行いません。
- 地震研究所内で無線 LAN（ERI_WLAN, UTokyo Wi-Fi※, eduroam）の接続サービスを提供いたします。ERI_WLAN の接続に必要な情報は会場に掲示いたします。ただし、サポートの切れた OS をインストールした PC の接続は所内規定により禁止されています。
※ UTokyo Wi-Fi は東大構成員が利用できる学内共通無線 LAN サービスです。
- 会場内空調の温度調整についてご要望がありましたら、研修運営委員までお気軽にお申し付けください。

8. 修了証書（PDF）について

全プログラムに参加された方のうち、申し込み時に配布を希望された方に発行いたします。

9. アンケートご協力をお願い

研修会に参加および聴講された方にアンケート URL をお知らせします。研修会の感想、次回へのご要望をぜひお聞かせください。いただいたご意見は今後の参考にいたします。また、今年度は地震研究所技術研究報告 https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/gihou_web/ に関するアンケートもあわせて実施いたします。お手数をお掛けいたしますが、何卒ご協力よろしくお願いいたします。

職員研修会アンケート <https://forms.office.com/r/q0BRRDkuZA>

技術研究報告アンケート <https://forms.office.com/r/KQz9uvkbNz>

アンケート収集期間：1 月 29 日（水）～ 2 月 6 日（木）



職員研修会



技術研究報告

1 日目：1 月 29 日（水） 地震火山災害予防賞受賞記念講演・技術発表

地震研究所 1 号館 2 階 セミナー室（1-203 号室）

12:30～ 受付（セミナー室の後方 出入口付近）

13:00～13:20 開会式 挨拶：古村 孝志（地震研究所所長）
行竹 洋平（研修運営委員長）

13:20～13:30 令和6年度地震火山災害予防賞 表彰式
受賞者：堀川 信一郎 氏
（東海国立大学機構名古屋大学 全学技術センター 技師）
業績名：名古屋大学の地震・火山観測，特に御嶽山での地震観測網の構築に関する功績

13:30～14:05 受賞記念講演
「御嶽山山頂域における通年地震テレメータ観測網の構築」

（ 休憩 ）

14:15～17:20 技術発表

口頭発表（座長：宮川）

14:15～14:30	(1-01)	DAS技術を用いた地震観測と描画ツールの開発 ○増田 正孝 ¹ ，田中 伸一 ¹ ，篠原 雅尚 ² 1. 東京大学地震研究所 技術部総合観測室 2. 東京大学地震研究所 観測開発研究センター
14:30～14:45	(1-02)	リアルタイム位置情報システムの試作 ○阿部英二 東京大学地震研究所技術部総合観測室
14:45～15:00	(1-03)	方向探知機によるラジオビーコン電波発信源方位探索の試み ～海底地震計回収失敗事例を受けて～ ○平野舟一郎 鹿児島大学大学院理工学研究科 技術部

（ 休憩 ）

口頭発表（座長：秋山）

15:10～15:25	(1-04)	伊豆鳥島での地震・GNSS観測 ○渡邊篤志 ¹ ，松島健 ² 1. 東京大学地震研究所 技術部総合観測室 2. 九州大学大学院理学研究院 附属地震火山観測研究センター
15:25～15:35	(1-05)	リモートモニタリング地震観測システムを用いた機動地震観測装置の構築 ○佐伯綾香 ¹ ，藤田親亮 ¹ ，浦野幸子 ² 1. 東京大学地震研究所 技術部総合観測室 2. 東京大学地震研究所 技術部技術開発室
15:35～15:45	(1-06)	地震計博物館拡充に向けた取り組み ○宮川幸治 東京大学地震研究所 技術部総合観測室

写真撮影：15:45 ポスター会場（1号館2階コミュニケーションラウンジ）にて

(休憩)

ポスター発表 (16:00~17:20 コアタイム 奇数番号 : 16:00~16:40 偶数番号 : 16:40~17:20)

(P-01)	御嶽山山頂域定常GNSS観測点のオンライン化 ○松廣健二郎 東海国立大学機構 名古屋大学 全学技術センター
(P-02)	東北大学の陸域臨時地震観測網の整備・運用状況 (2024年度) ○平原聡, 木村洲徳, 河野俊夫, 堀修一郎, 岡田知己, 内田直希, 高木涼太, 吉田圭佑 東北大学 大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター
(P-03)	技術職員による広報アウトリーチ室への協力 (2024 年度) ○福井萌 東京大学地震研究所 広報アウトリーチ室
(P-04)	JAVA による地震モニターアプリケーションの作成 ○一柳昌義 北海道大学 地震火山研究観測センター
(P-05)	水準測量で使用する標尺支持棒の製作 ○内田和也 九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター
(P-06)	今村式 14 年型簡単微動計の起動器の部品製作とオーバーホール ○橋本匡 ^{1,2} , 宮川幸治 ¹ , 内田正之 ² 1. 東京大学地震研究所 技術部総合観測室 2. 東京大学地震研究所 技術部技術開発室
(P-07)	Raspberry Pi Pico と安価な計装アンプを用いた教育・デモ用の地震計 ○大塚宏徳 東京大学地震研究所 技術部総合観測室
(P-08)	阿蘇中岳第 1 火口における Web カメラの設置について ○吉川慎, 井上寛之 京都大学大学院理学研究科技術室
(P-09)	火山研究センターの観測点の維持管理について 2024 ○井上寛之 京都大学大学院理学研究科技術室
(P-10)	PoE 給電を用いたデータ通信システム構築の試み ○山品匡史, 大久保慎人 高知大学理工学部附属高知地震観測所

(休憩)

17:25~17:35 翌日の所外研修における注意事項の説明

18:00~20:00 懇親会 (農学部生協食堂)

2日目：1月30日（木） 所外研修（海上保安庁/気象庁）

- 9:05 海上保安庁（中央合同庁舎第4号館）に集合・点呼後講義室へ移動
- 9:30～11:30 海上保安庁にて講義
「ご挨拶・注意事項の説明など」
「海洋情報部の業務紹介」
「海上保安庁におけるGNSS-A海底地殻変動観測の技術と成果」
「海上保安庁による西之島火山噴火の観測」
- 11:30 一時解散、各自で昼食をとり気象庁へ移動
※ 海上保安庁から気象庁へは地下鉄日比谷線で一駅（霞ヶ関駅→虎ノ門ヒルズ駅）または徒歩25分（約1.5km）
- 13:00 気象庁に集合・点呼後講義室へ移動
- 13:30～16:00 気象庁にて講義
「ガイダンス」
「地震津波業務概要（監視体制、情報発表、大学との連携）」
「地震津波業務概要（観測機器・システムの概要等）」
「令和6年能登半島地震における観測障害及び復旧作業」
「緊急地震速報の課題および今後の計画」
「Starlink及び閉域網を用いたテレメータ装置からのデータ伝送デモ結果」
「火山業務概要（監視体制、情報発表、大学との連携）」
「火山業務概要（観測機器・システムの概要等）」
「火山付近の観測点整備について」
- 16:00～17:00 3班に分かれて施設見学（気象現業、地震火山現業、記者会見室）
- 17:00～ 気象科学館（20:00閉館） 各自で自由見学・現地解散

※ 詳細については1月29日（水）に受付で配布する「所外研修について」をご参照ください。

3日目：1月31日（金） 技術発表・特別講演

地震研究所 1号館 2階 セミナー室（1-203号室）

8:40～ 受付（セミナー室の後方 出入口付近）

9:00～10:40 技術発表・研修報告

口頭発表（座長：八木）

09:00～09:15	(3-01)	桜島火山防災研究センターでの無人機活用について ○竹中悠亮 京都大学防災研究所 技術室
09:15～09:30	(3-02)	桜島火山観測所における自然災害発生後の対応 ○園田忠臣，竹中悠亮 京都大学防災研究所 技術室（勤務地：火山防災研究センター）
09:30～09:45	(3-03)	御嶽山南麓の地震観測網強化について ＝満点観測点を利用した通年テレメータ観測＝ ○堀川 信一郎 東海国立大学機構名古屋大学 全学技術センター

（ 休憩 ）

口頭発表（座長：佐伯）

09:55～10:15	(3-04)	数値シミュレーション結果の3Dモデル化 ○浦野幸子 ¹ ，鈴木雄治郎 ² 1. 東京大学地震研究所技術部技術開発室 2. 東京大学地震研究所数理系研究部門
10:15～10:35	(3-05)	ワイヤーソーの使用目的に最適化させた治具の開発 ○竹内昭洋 ¹ ，内田正之 ¹ ，平賀岳彦 ² 1. 東京大学地震研究所 技術部技術開発室 2. 東京大学地震研究所 物質科学系研究部門
10:35～10:45	(3-06)	個人研修報告：防災士の資格取得費用の補助 ○増田 正孝，○秋山 峻寛，○芹澤 正人，○宮川 幸治 東京大学地震研究所 技術部総合観測室

（ 休憩 ）

11:00～12:00 特別講演

講師：小原 一成（東京大学地震研究所・教授）

演題：地震波モニタリング～様々な地動との出会い～

12:00～12:15 修了式

挨拶：古村 孝志（地震研究所所長）

安藤 美和子（職員研修会実行委員長）

会場案内図

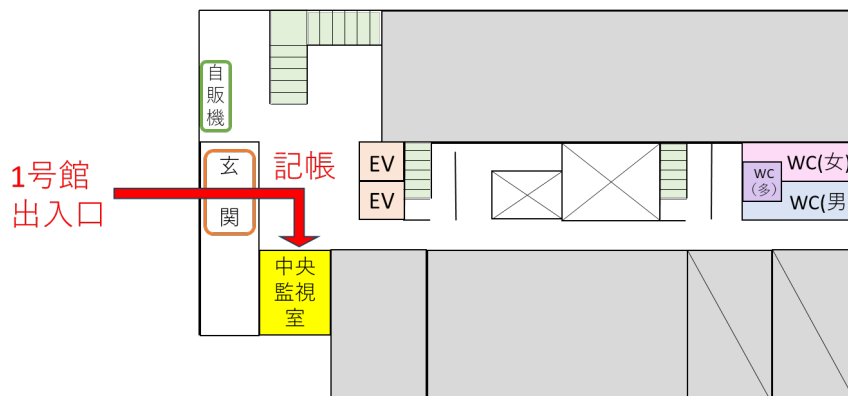
会場：東京大学地震研究所 〒113-0032 東京都文京区弥生 1-1-1



《南北線ご利用の場合》
東京地下鉄南北線東大前駅（1 番出口）より徒歩約 5 分。地上に出てから、右に曲がり、キャンパスの塀沿いに進んでください。

《千代田線ご利用の場合》
東京地下鉄千代田線根津駅（1 番出口）より徒歩約 10 分。出口を出て左へまっすぐ。5 分ほどで根津神社入口の交差点になります。そこでまた左へ。根津神社を右手に見ながら坂を上りさらに 5 分ほど進んで下さい。地震研正門あるいは小門にたどり着きます。

地震研究所 1 号館 1 階（中央監視室で記帳してください）



地震研究所 1 号館 2 階
(セミナー室：受付/口頭発表, コミュニケーションラウンジ：ポスター発表)

